

化学品部会

2011年の回顧と2012年の展望
(2012年2月14日)

アンケート回答19社・21回答
16業種(内1社3回答・3業種)

2011年の回顧

<2010年比>

売上:増加 18/21
不変 1/21
減少 2/21

利益:増加 15/21
不変 1/21
減少 5/21

2012年の展望

<2011年比>

売上:増加 14/21
不変 5/21
減少 2/21

利益:増加 10/21
不変 6/21
減少 5/21

回答21回答(19社・1社3回答)

→ 16業種 → 5分野

回答21回答
→16業種 → 5分野

工業材料分野 8社(8業種)

タイヤ 1社
樹脂用着色剤 1社
ロジン・誘導體 1社
合成樹脂 1社
水処理薬品 1社
石油化学製品 1社
シール・接着剤 1社
印刷インキ 1社

農業・畜産 4社(2業種)

農薬 3社
飼料添加物 1社

医薬・化粧品 2社(2業種)

一般用医薬品 1社
化粧品 1社

一般消費財 4社(3業種)

写真デジカメ 1社
文具 2社
家庭用防疫薬 1社

化学品貿易 3社(1業種)

商社 3社

アンケート・分野別回答

1.工業材料分野(8社・8回答)

2011年の回顧

<2010年比>

売上:増加	6/8
不変	0/8
減少	2/8

利益:増加	4/8
不変	0/8
減少	4/8

2012年の展望

<2011年比>

売上:増加	5/8
不変	2/8
減少	1/8

利益:増加	5/8
不変	2/8
減少	1/8

アンケート・分野別回答

2.農業・畜産分野(3社・4回答)

2011年の回顧 ＜2010年比＞

売上:増加	4/4
不変	0/4
減少	0/4

利益:増加	3/4
不変	0/4
減少	1/4

2012年の展望 ＜2011年比＞

売上:増加	2/4
不変	1/4
減少	1/4

利益:増加	1/4
不変	1/4
減少	2/4

アンケート・分野別回答

3. 医薬・化粧品分野(2社・2回答)

2011年の回顧 ＜2010年比＞

売上:増加	2/2
不変	0/2
減少	0/2

利益:増加	2/2
不変	0/2
減少	0/2

2012年の展望 ＜2011年比＞

売上:増加	2/2
不変	0/2
減少	0/2

利益:増加	1/2
不変	0/2
減少	1/2

アンケート・分野別回答

4.一般消費財分野(4社・4回答)

2011年の回顧 ＜2010年比＞

売上:増加 3/4
不変 1/4
減少 0/4

利益:増加 3/4
不変 1/4
減少 0/4

2012年の展望 ＜2011年比＞

売上:増加 2/4
不変 2/4
減少 0/4

利益:増加 1/4
不変 2/4
減少 1/4

アンケート・分野別回答

5.化学品貿易分野(3社・3回答)

2011年の回顧 ＜2010年比＞

売上:増加	3/3
不変	0/3
減少	0/3

利益:増加	3/3
不変	0/3
減少	0/3

2012年の展望 ＜2011年比＞

売上:増加	3/3
不変	0/3
減少	0/3

利益:増加	2/3
不変	1/3
減少	0/3

アンケート・分野別回答・総括

2011年の回顧<2010年比>

1. 工業材料分野

売上:増加	6/8	利益:増加	4/8
不変	0/8	不変	0/8
減少	2/8	減少	4/8

2. 農業・畜産分野

売上:増加	4/4	利益:増加	3/4
不変	0/4	不変	0/4
減少	0/4	減少	1/4

3. 医薬・化粧品分野

売上:増加	2/2	利益:増加	2/2
不変	0/2	不変	0/2
減少	0/2	減少	0/2

4. 一般消費財分野

売上:増加	3/4	利益:増加	3/4
不変	1/4	不変	1/4
減少	0/4	減少	0/4

5. 化学品貿易分野

売上:増加	3/3	利益:増加	3/3
不変	0/3	不変	0/3
減少	0/3	減少	0/3

2012年の展望<2011年比>

1. 工業材料分野

売上:増加	5/8	利益:増加	5/8
不変	2/8	不変	2/8
減少	1/8	減少	1/8

2. 農業・畜産分野

売上:増加	2/4	利益:増加	1/4
不変	1/4	不変	1/4
減少	1/4	減少	2/4

3. 医薬・化粧品分野

売上:増加	2/2	利益:増加	1/2
不変	0/2	不変	0/2
減少	0/2	減少	1/2

4. 一般消費財分野

売上:増加	2/4	利益:増加	1/4
不変	2/4	不変	2/4
減少	0/4	減少	1/4

5. 化学品貿易分野

売上:増加	3/3	利益:増加	2/3
不変	0/3	不変	1/3
減少	0/3	減少	0/3

1.業種別回答(工業材料分野・タイヤ)1社

2011年の回顧

<2010年上期比>

売上:増加

利益:減少

⇒予測以下

<その主たる背景は？>

(プラス要因)

●車両販売拡大、保有台数
増加によるマーケット拡大

(マイナス要因)

●海外からの安価な製品輸
入による競争激化

2012年の展望

<2011年比>

売上:増加

利益:増加

<その主たる根拠は？>

(プラス要因)

●マーケットの拡大

(マイナス要因)

●輸入品との価格競争

2.業種別回答(工業材料分野・樹脂用着色剤・1社)

2011年の回顧

<2010年比>

売上:減少

利益:減少

⇒予測以上

<その主たる背景は?>

(プラス要因)

●国内需要の安定

(マイナス要因)

●欧米経済の低迷による需要減

●政府による景気抑制政策

●輸入品増大(リアル高)による当社
顧客の販売不振

●激化する同業他社との競合

●値上げ交渉の困難さ

●人件費の高騰、税務裁判の長期化

2012年の展望

<2011年比>

売上:不変

利益:増加

<その主たる根拠は?>

(プラス要因)

●新機械の導入による新規市場開拓

●昨年実行した人員削減の効果

●リアル高傾向による輸入品流入鈍化
を期待

(マイナス要因)

●欧米経済の低迷、中国経済成長の鈍化

●為替動向への懸念

●激化する同業他社との競合

●値上げ交渉の困難さ

●人件費の高騰、税務裁判の長期化

3.業種別回答(工業材料分野・ロジン/誘導体・1社)

2011年の回顧

<2010年比>

売上:増加

利益:増加

⇒予測通り

<その主たる背景は?>

(プラス要因)

- 主原料松脂価格の年前半の高騰による売上の増加と、年後半の下落による利益の増加

(マイナス要因)

- 原料価格の変動

2012年の展望

<2011年比>

売上:減少

利益:増加

<その主たる根拠は?>

(プラス要因)

- 主原料松脂価格と製品価格の下落の時間差による利益の増加

(マイナス要因)

- 国内外の景気の後退

4.業種別回答(工業材料分野・合成樹脂・1社)

2011年の回顧

<2010年比>

売上:増加

利益:増加

⇒予測通り

<その主たる背景は?>

(プラス要因)

- 市場の成長
- 経済危機からの回復
- マーケットの進捗
- 新規採用の拡大
- リアル高

(マイナス要因)

- インフレ

2012年の展望

<2011年比>

売上:不変

利益:増加

<その主たる根拠は?>

(プラス要因)

- 市場の成長

(マイナス要因)

- 欧米経済危機による需要減退
- リアル安
- インフレ

5.業種別回答(工業材料分野・水処理薬品・1社)

2011年の回顧

<2010年比>

売上:増加

利益:増加

⇒予測通り

<その主たる背景は?>

(プラス要因)

- 着実な値上げの実施
- 食品、飲料工場及び小規模製鉄所
の新規開拓

(マイナス要因)

- 石油化学コンビナートでの競争激化

2012年の展望

<2011年比>

売上:増加

利益:増加

<その主たる根拠は?>

(プラス要因)

- 値上げ交渉の継続
- 食品飲料工場向けの更なる拡販
- RO膜洗浄薬品市場での新規開拓

(マイナス要因)

- 石油化学コンビナートでの競争激化
- レアル安による原材料価格上昇リスク

6.業種別回答(工業材料分野・石油化学製品・1社)

2011年の回顧

<2010年比>

売上:増加

利益:増加

⇒予測通り

<その主たる背景は?>

(プラス要因)

- 2010年に新オフィスを立上た為

(マイナス要因)

- 特に無し

2012年の展望

<2011年比>

売上:増加

利益:増加

<その主たる根拠は?>

(プラス要因)

- 取扱商品の拡大

(マイナス要因)

- 特に無し

7.業種別回答(工業材料分野・シール材/接着剤・1社)

2011年の回顧

<2010年比>

売上:減少

利益:減少

<その主たる背景は?>

(プラス要因)

●特に無し

(マイナス要因)

●ブラジル経済の減速

●インフレ

●原料価格の上昇

2012年の展望

<2011年比>

売上:増加

利益:不変

<その主たる根拠は?>

(プラス要因)

●ブラジル経済の復調

(マイナス要因)

●為替の変動

●インフレ

8.業種別回答(工業材料分野・印刷インキ・1社)

2011年の回顧

<2010年比>

売上:増加

利益:減少

⇒予測以下

<その主たる背景は?>

(プラス要因)

- 2010年7月に輸入販売開始、2011年は販売が順調に拡大

(マイナス要因)

- 2011年9月以降の円高・レアル安の影響で日本からの輸入品の利益が減少。

2012年の展望

<2011年比>

売上:増加

利益:増加

<その主たる根拠は?>

(プラス要因)

- USA、中国、インド等、日本以外からの輸入販売を開始、利益を確保。
- インキ以外の製品の輸入販売を開始、販売拡大を目指す。

(マイナス要因)

- 引き続き、円高・レアル安が継続する為、日本からの輸入品の利益の増加が見込めない。

9.業種別回答(農業畜産分野・農薬・3社)

2011年の回顧

<2010年比>

売上:全社増加

利益:全社増加

⇒全社予測以上

<その主たる背景は?>

(プラス要因)

- 大豆・オレンジ栽培面積の増加
- 綿花市場への参入と同栽培面積の増加
- 農産物価格の上昇
- 農業面積の増加

(マイナス要因)

- 中国製違法商品との競合
(水稲用除草剤等)
- 円高
- 東日本大震災による生産への影響

2012年の展望

<2011年比>

売上:増加1社、不変1社、減少1社

利益:増加1社、不変1社、減少1社

<その主たる根拠は?>

(プラス要因)

- 作付面積の拡大の継続
- 農産物価格の安定
- 対象病害の登録拡大

(マイナス要因)

- 中国製違法商品との競合
(水稲用除草剤等)
- ジェネリック商品の市場参入
- 円高
- 登録規制
- 気象異変による作付面積の減少
- 農産物価格の下落による作付面積の減少

10.業種別回答(農業畜産分野・飼料添加物・1社)

2011年の回顧

<2010年比>

売上:増加

利益:減少

⇒予測以下

<その主たる背景は?>

(プラス要因)

●販売数量の増加

(マイナス要因)

●販売価格の低下

2012年の展望

<2011年比>

売上:増加

利益:減少

<その主たる根拠は?>

(プラス要因)

●販売数量の更なる増加

(マイナス要因)

●販売価格の更なる低下

11.業種別回答(医薬化粧品分野・一般用医薬品・1社)

2011年の回顧

<2010年比>

売上:増加

利益:増加

⇒予測通り

<その主たる背景は?>

(プラス要因)

●市場(購買層)の拡大

●SP活動の成功

(マイナス要因)

●原料、人件費の高騰により利益的に期待以下

2012年の展望

<2011年比>

売上:増加

利益:増加

<その主たる根拠は?>

(プラス要因)

●市場拡大の継続

●許認可次第なるも、販売商品の拡大
(マイナス要因)

●諸経費、特にマナウスの人件費高騰

12.業種別回答(医薬化粧品分野・化粧品・1社)

2011年の回顧

<2010年比>

売上:増加

利益:増加

⇒予測通り

<その主たる背景は?>

(プラス要因)

- 欧米の競合他社にはないカテゴリーでの売上増
- 既存品の販売が順調なこと

(マイナス要因)

- 為替の影響による海外での購入者の増加の為、高級化粧品店の客数の減少
- 資金繰り悪化の店の増加

2012年の展望

<2011年比>

売上:増加

利益:減少

<その主たる根拠は?>

(プラス要因)

- 新ブランドの導入
- 5月から外資系化粧品チェーン店のブラジル参入(3年以内に20店舗開店の見込)

(マイナス要因)

- 新ブランド導入の為のコスト増による利益の減少

13.業種別回答(一般消費財分野・写真/デジカメ・1社)

2011年の回顧

<2010年比>

売上:増加

利益:増加

⇒予測以下

<その主たる背景は?>

(プラス要因)

●ブラジル国内景気上昇

(マイナス要因)

●ブラジル・レアルの大幅下落

2012年の展望

<2011年比>

売上:増加

利益:増加

<その主たる根拠は?>

(プラス要因)

●ブラジル国内の景気上昇

(マイナス要因)

●ブラジル・レアルの為替レート低迷

14.業種別回答(一般消費財・文房具・2社)

2011年の回顧

<2010年比>

売上:2社共に増加
利益:2社共に増加
⇒2社共に予測通り

<その主たる背景は?>

(プラス要因)

- 市場の拡大
- 市場の好況
- レアル高
- コスト削減努力

(マイナス要因)

- 人件費、材料費のアップ

2012年の展望

<2011年比>

売上:1社増加、1社不変
利益:1社不変、1社減少

<その主たる根拠は?>

(プラス要因)

- メディアを活用した販促の効果

(マイナス要因)

- 景気の後退
- 人件費、材料費のアップ
- レアル安
- 輸入ライセンスの発給の遅れ

15.業種別回答(一般消費財・家庭用防疫薬・1社)

2011年の回顧

<2010年比>

売上:不変

利益:不変

⇒予測通り

<その主たる背景は?>

(プラス要因)

- デング熱流行の継続
- 新規顧客に対する販売増

(マイナス要因)

- 顧客の再編
- ジェネリック品との競合

2012年の展望

<2011年比>

売上:不変

利益:不変

<その主たる根拠は?>

(プラス要因)

- デング熱流行の継続

(マイナス要因)

- ジェネリック品との競合継続

16.業種別回答(化学品貿易分野・商社・3社)

2011年の回顧

<2010年比>

売上:3社共に増加

利益:3社共に増加

⇒1社予測以上、1社予測通り、
1社予測以下

<その主たる背景は?>

(プラス要因)

- 内需拡大による輸入増
- レアル高による輸入増
- 既存商品の取り扱い増加
- 新規商品の取り扱い開始

(マイナス要因)

- 内需拡大による輸出減
- レアル高による輸出減
- 欧州金融問題後の景気後退
- 客先の信用状況の悪化
- 人件費増

2012年の展望

<2011年比>

売上:3社共に増加

利益:2社増加、1社不変

<その主たる根拠は?>

(プラス要因)

- 輸入の継続的拡大
- 日系及びアジア企業のブラジル進出
- 既存商品の取り扱いの増加
- 新商品の取り扱い開始

(マイナス要因)

- 輸出の継続的減少
- 韓国・中国等のライバル出現
- 景気回復の遅れ
- 人件費等の販売費の増加

副題:「景気減速が日伯経済関係に与える影響」 に対する回答

回答1: 当地の保護主義は主に国内企業の既得権益を守る為のものとなっており、国内企業の国際競争力の向上に寄与しているとは思えない。当地での生産品を輸出出来る状態となれば投資機会は大きく増えると感じている。

回答2: 景気減速と円高で日本企業は苦しんでいる。更に増税するようなことは絶対に避けるべきである。むしろ、韓国のように政府の為替介入による円高の阻止を実施すること、法人税カット等で景気を浮揚してもらいたい。